

「宇宙考古学から見たシルクロードの西と東」開催 2026年7月18日（土）～同年8月16日（日）

宇宙考古学の視点から、衛星観測で解明された古代中国・エジプト文明の謎を紹介します。

2026年盛夏、日中友好会館美術館では、宇宙から読み解く新たな視点で、シルクロードの東西に広がる古代文明の謎に迫る展覧会「宇宙考古学から見たシルクロードの西と東」を開催します。本展では、宇宙考古学の最先端の研究成果をもとに、衛星観測で解明された古代文明の知られざる姿を、ストーリー性とエンターテインメント性を交えてわかりやすく紹介します。さらに、当時の様子を伝える古代遺物やその複製品の展示を通じて、来館者に知識と美的関心を広げ、中国・エジプト文明への理解をより一層深める機会を提供します。



【展覧会名】宇宙考古学から見たシルクロードの西と東

【会 期】2026年7月18日（土）～同年8月16日（日）

【主 催】公益財団法人日中友好会館、東海大学情報技術センター、淑徳大学

【協 力】株式会社清水書院

【後 援】外務省、中華人民共和国駐日本国大使館、中国文化センター、（公社）日本中国友好協会、日本国際貿易促進協会、（一財）日本中国文化交流協会、日中友好議員連盟、（一財）日中経済協会、（一社）日中協会、（一財）日本アジア共同体文化協力機構、東海大学文明研究所、文京区

【会 場】日中友好会館美術館（東京都文京区後楽1-5-3）

【開館時間】10:00～17:00

【休 館 日】月曜日 ※7/20（月祝）は開館、7/21（火）は休館

【入 館 料】無料

【アクセス】・都営大江戸線「飯田橋」C3出口より徒歩1分
・JR 総武線「飯田橋」東口より徒歩7分
・地下鉄東西線・有楽町線・南北線「飯田橋」A1出口より徒歩7分

【本展 URL】 <https://jcfcmuseum.jp/events/event/2026-04/>

本展QRコード



◎展示構成

8つのテーマに分けて展示

テーマ①：宇宙考古学とは

宇宙からの観測技術を考古学に応用した。衛星が捉えられた近年の地球の姿を歴史的な知見や考古学資料と融合させながら理解することで、遺跡の分布や古環境を広域的かつ長期的視点で理解する応用研究を宇宙考古学という。

テーマ②：秦の始皇帝陵を探る

中国を最初に統一した始皇帝の陵墓は現在まで残されている。その周辺からは 8000 体にもものぼる兵馬俑が発見されたが、始皇帝が埋葬された地下宮殿はまだ発掘されていない。衛星画像から地下宮殿の謎に迫る。

テーマ③：秦帝国の空間を探る

秦帝国は巨大な領域を持っていた。万里の長城の万里（5千キロ弱）は帝国の東西の大きさを物語っている。秦は都咸陽を中心に南北、東西の軸線を意識していた。東の海に東門を設けた文献の記録を衛星画像から検証した。

テーマ④：古環境を探る

始皇帝が不老不死の薬を求めて崑崙山に使者を遣わせたことが黄河の源流にある岩に刻まれていたことがわかった。その西方の刻石と、東方の泰山刻石、琅邪台刻石を比較してみよう。崑崙の西王母伝説も漢代の画像石から探る。

テーマ⑤：衛星から俯瞰するシルクロード

衛星データと標高データをコンピュータで画像処理した大型衛星画像図「シルクロードサテライトマップ」を制作した。ローマから奈良までをカバーする高精細衛星画像をベースに、シルクロードの都市、遺跡、ルートを重ねた 5m の大型画像図によってシルクロードを俯瞰してみよう。

テーマ⑥：衛星画像の解析

東海大学情報技術センターは、開設以来 50 年以上にわたって宇宙からの地球観測やデータ解析、自然科学系の研究開発など、画像情報工学における先導的役割を担ってきた。このコーナーでは、衛星データの考古学的応用をはじめ、情報技術センターで実施されている画像情報の応用研究や調査成果を 4K 映像などで紹介する。

テーマ⑦：古代エジプト遺跡の発見

東海大学情報技術センターと早稲田大学エジプト学研究所は、衛星データと古環境理解によって、古代エジプト遺跡を発見した。衛星データによって道の遺跡の位置を特定し、遺跡の発見と発掘に成功した例は本例がエジプト学史上初めてである。

テーマ⑧：東海大学エジプトコレクション

東海大学エジプト及び中近東コレクション(略して AENET) は故鈴木八司東海大学名誉教授のご遺族より 2010 年に寄贈を受けた。古代エジプトやイスラーム関連の遺物約 6 千点と、写真や拓本など約 1 万 5 千枚、学術図書約 6 千冊は現在では東海大学文明研究所と図書館に収蔵されており、今回の展示ではその一部を公開する。

◎特別公開

東海大学エジプトコレクションおよび淑徳大学書学文化センターコレクションの収蔵品から選りすぐられた貴重な作品を展示。



ミイラ棺蓋部分
木/亜麻布/泥
22 王朝時代
東海大学文明研究所所蔵



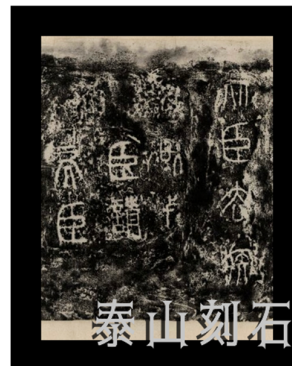
ターウエレット夫人のウ
シヤブティ
新王国時代末期
東海大学文明研究所所蔵



コプト布 (アププリケ)
H. 12.0 x W. 11.7cm
布(亜麻, 羊毛)
東海大学文明研究所所蔵



西王母伝説画像石
淑徳大学書学文化センター
所蔵



泰山刻石
淑徳大学書学文化センター
所蔵



中国陶磁 (青花)
元 13~14 世紀
東海大学文明研究所所蔵

◎関連イベント

特別記念講演① 失われた漢代「シルクロード」をもとめて～衛星写真・岩画・刻石から



▶▶いまから約2000年前の漢帝国の時代。ユーラシア大陸の東西を結ぶ交通路、いわゆる「シルクロード」があったという。長い年月と環境変化のなかで失われてしまったこの道の痕跡を、本展覧会で展示されている衛星写真、岩画、刻石などから探してみたい。

【日時】7月25日(土) 14:00～15:00

※ 開始1時間前より受付開始、30分前より開場

【会場】日中友好会館地下1階・大ホール

【講師】村松弘一 先生

▶ 淑徳大学人文学部歴史学科教授。専門は中国古代史。

著書『中国古代環境史の研究』、

『空間と環境の古代東アジア世界史』、

『三星堆博物館へようこそ～長江文明との出会い』（翻訳）ほか。

【席数】100席（自由席・事前予約制）

【参加料】無 料

[申し込みはこちら↓](#)



特別記念講演②前半 宇宙考古学への招待



▶▶最先端の地球観測衛星データが古代遺跡の発見や古代史の解明の重要なツールとして活用されています。衛星データによって古代世界をひも解く「宇宙考古学」。あなたを宇宙考古学の世界にご招待します。

【日時】8月1日(土) 14:00～15:00

※ 開始1時間前より受付開始、30分前より開場

【会場】日中友好会館地下1階・大ホール

【講師】恵多谷雅弘 先生

▶ 東海大学情報技術センター研究員。博士(工学)。

専門はリモートセンシング。近年は宇宙考古学、

古文化財の調査や復元に関する研究に従事。

著書『宇宙考古学への招待(編著)』、

『リモートセンシング事典(共著)』、

『宇宙と地下からのメッセージ(共著)』ほか

【席数】100席（自由席・事前予約制）

【参加料】無 料

[申し込みはこちら↓](#)



特別記念講演②後半 衛星画像から見た始皇帝の遺跡



▶▶中国を最初に統一した始皇帝の時代の遺跡を宇宙から探る。万里の長城、始皇帝陵、始皇帝採薬使節刻石など、文献史料・考古資料・出土竹簡史料とあわせて発見された成果を紹介する。

【日時】8月1日(土) 15:00～16:00

【会場】日中友好会館地下1階・大ホール

【講師】鶴間和幸 教授

▶ 歴史学者、学習院大学名誉教授。専攻は中国古代史。

著書『秦漢帝国へのアプローチ』、

『始皇帝陵と兵馬俑』、『始皇帝の地下宮殿』、

『始皇帝の戦争と将軍たち』。

【席数】100席（自由席・事前予約制）

【参加料】無 料

本展に関するお問合せは下記までご連絡下さい

◆公益財団法人日中友好会館 文化事業部（担当：堀口）

E-mail: bunka@jcfc.or.jp

住所：東京都文京区後楽 1-5-3 TEL: 03-3815-5085

URL: <https://jcfcmuseum.jp/>



美術館 X (旧 Twitter)



美術館公式HP

広報用素材は下記 URL よりダウンロードしてください。

<https://xgf.nu/ouTmz>

